

東京医大被害者遺族ネット発足 趣意説明

2010年12月1日

東京医大被害者遺族ネット発足の目的

東京医科大学病院（以下東京医大）における医療事故等の経緯を受けて、被害者及び遺族によるネットワークを立ち上げます。ここにその趣意を説明します。

本ネットワークの目的は、以下の3点とします。

- 1、東京医科大学病院（八王子医療センター、茨城医療センターを含む）で医療被害を受けた患者・遺族が情報交換を図りながら相互理解を深める
- 2、必要に応じて情報を開示し、外部機関などを活用して問題解決に努める
- 3、東京医大に対して医療安全に向けた提言を随時行い、改革・改善を求める

患者や遺族はそれぞれの状況や心境が異なるので、極端に個人的課題に偏向することなく、ゆるやかな連携を保ちながら、東京医大の取り組みや事故被害、医療安全に関する情報を共有し、累卵の危を感じた時に、大きな組織に改善と責任を求めていくための知恵を蓄積することが大切と考えます。さらに、これまで医療事故裁判で幾重にも傷つけられた遺族の思いを、これからの医療裁判のあり方の提起としてつないでいきたいと考えます。

東京医科大学における組織的問題の経緯

東京医大では、今年7月に公表された「第三者委員会」の提言を受け、東京医科大学組織の早急な見直しについて基本方針を策定するため、理事長の諮問機関として、学外の有識者による「再生委員会」（高久史磨委員長／自治医科大学学長）が9月9日に設置されました。また、具体的な改革案を策定するために、学内者を中心とした再生プロジェクトチーム委員会が8月31日付けで設置されました。委員会の要旨は医科大学ホームページで公開されています。

2007年に八王子医療センターでの生体肝移植による生存率の低さが新聞報道され、続いて研究費や謝礼金、診療報酬不正請求などの不祥事が発覚しました。こうした一連の問題を受けて、2009年12月に内部の検証委員会が生体肝移植に関する報告書を公表、2010年5月には組織運営やガバナンスのあり方について調査・検討する第三者委員会を設置しました。この第三者委員会は、郷原信郎委員長を中心として、「東京医科大学をめぐる諸問題の調査検討結果及び提言」（以下調査報告書）をまとめました。

この調査報告書には、平成14年10月から平成17年10月までの連続した心臓弁手術による死亡事故とそれに関する第三者調査報告書の提言について触れられており、当時の提言が全く生かされていないこと、患者中心の医療の視点が欠如していることが記されていました。その後郷原委員長と大学幹部との意見齟齬が原因で、大学病院側は独自の再生委員及び再生プロジェクトチームを発足するに至った、というのが現在の状況です。

10月27日に第2回再生委員会が開催されていますが、その内容はまだ公表されていません。(第1回要旨は<http://www.tokyo-med.ac.jp/news/saisei01.pdf> で公表)

今後どういう形で組織改革、医療安全に向けた方針を出すか分かりませんが、被害にあった患者・遺族として、関心を大にして注視していく姿勢です。さらに、社会的責任を担う大学病院のあり方を問いただし、医療事故再発防止に向けて提起します。

ネットワークの世話人

世話人は複数人配置する予定、当面の連絡・世話人として以下2人を当てます。

川田 綾子

(2003年東京医大にて母心臓弁膜術により死亡、内部告発により未熟な医師による連続した死亡が発覚、2005年示談)

メールアドレス：kawadaya@gmail.com

永井 国生

(2003年東京医大病院にてIVHカテーテル誤挿入で配偶者が脳死状態となり2年後死亡。病院は事件の隠蔽を図ったが、メディアがスクープし周知となる。)

メールアドレス：net.nagai@gmail.com

<資料>

- 「東京医科大学八王子医療センター 生体肝移植調査報告書」
 東京医科大学 生体肝移植検証委員会 2009.12
http://www.tokyo-med.ac.jp/hmc/pdf/seitaikanishoku_chousahoukokusho.pdf
- 「東京医科大学をめぐる諸問題の調査検討結果及び提言」
 東京医科大学第三者委員会（郷原信郎委員長） 2010.7.13
<http://www.tokyo-med.ac.jp/news/dai3sya.pdf>
- 「東京医科大学八王子医療センターにおける
 生体肝移植に関する内部調査結果報告書」
 生体肝移植に関する八王子医療センター調査委員会 2010.7.14（7.27公表）
http://www.tokyo-med.ac.jp/hmc/pdf/seitaikanishoku_naibuchousa_houkokusho.pdf
http://www.tokyo-med.ac.jp/hmc/information/n-seitaikanishoku_naibuchousa_houkokusho20100727.html

東京医大に関する主な社会的問題（川田作成／日経メディカル2010.8号参考）

		主な事故	公になった主な社会的事象
98年	7月	肺腫瘍と心臓バイパス同時手術による死亡	
00年	10月	生体肝移植術開始(07.4まで)	
H12			
01年		心内膜炎患者診断ミスにより死亡	
H13			
02年	10月	心臓外科術による連続死亡事故 (04.2まで)	
H14			
03年		左右耳取り違え事故 中心静脈カテーテル誤挿入事故	
H15			
04年			
H16	8月	生体肝移植16例目検討会	
	12月		・心臓外科術の連続死亡証拠保全
05年	1月	がん検査せず死亡事故(09年遺族勝訴)	
H17	3月	生体肝移植 麻酔科の危惧	・心臓外科術の第三者委員会(古瀬章委員長)報告書
	8月		・特定機能病院の認定取り消し
06年			
H18			・心臓外科術遺族要望の医療安全10ヶ条を受理
07年	10月		・生体肝移植生存率の低さが新聞報道
H19			
08年	4月		・研究費の不適切な経理処理が文部科学省への告発で発覚
H20	5月		・学位論文の謝礼金問題が文部科学省への告発で発覚
09年	2月		・特定機能病院の認定を再認証
H21			・学位論文の謝礼金問題で大学が調査結果を公表
	8月		・医療事故被害者によるメモリアルデー講演
	9月		・茨城医療センターの診療報酬不正請求問題が内部調査で発覚
	9月		・茨城医療センターの診療報酬不正請求問題が内部調査結果を公表
	12月		・研究費の不適切な経理処理について調査結果を公表
	12月		・生体肝移植問題について検証委員会(内部)の報告書を公表
10年	5月		・組織運営やガバナンスのあり方について調査、検討する第三者委員会を設置
H22	6月		・伊東洋氏が理事長を辞任
	7月		・田中慶司氏(元厚生労働省健康局長)が理事長就任
	9月		・第三者委員会(郷原信郎委員長)の調査検討結果・提言を公表
	9月		・東京医大再生委員会及び再生プロジェクトチーム委員会が設置